

皆さんこんにちは、学志舎の山田です。

卒業生シリーズ6回目となります。今回はコーチングについて触れます。

表面の担当コーチの折原のコメント9行目から12行目にある

「特に勉強を教えたことがない」「見守るスタンスで」これを少し解説いたします。下の図をご覧ください。

塾長

山田 勝登



学志舎

岐阜市で24年の塾経営経験を活かし、

お子さまのレベル・ステップに合わせたカリキュラムを組み立て、

徹底した自律学習指導を行っています。

② アクティブコーチング型 (高支援・高指示)	③ コーチング型 (高支援・低指示)
① ティーチング型 (低支援・高指示)	④ 委任コーチング型 (低支援・低指示)

育 (Coaching)
支援的行動

教 (Teaching)
指示的行動

成長レベル	①	②	③	④
知識・技能	低い	中～低い	高～中	高い
意欲	高い	低い	マチマチ	高い

成長レベル	かわり方
①	指示・教えるといったことを中心に指導する
②	指示・教えるはそのままで、本人が「どうしたいか」「どうなりたいかを」コーチングし少しずつ取り入れていく
③	指示を少なくし、本人の意思を尊重したかわりを持つここで指示を押さえると、生徒はレベル④に移るここで指示をし続けると、生徒はレベル②に戻る
④	このレベルに移ったら「見守る」「承認する」といったスタンスでかわる

表面の服部君は小学校の時から通塾しており、私のコーチングも何度も受けていました。中3ではほぼレベル④に達していましたね。

ですから、担当の折原が「寄り添う」「見守る」といった表現をコメントで使ったのです。私が目指す生徒像がこれなのです。

いわゆる「自律」した子供の姿です。「見守る」と「放任」は全く違います。

コーチングを学んだ者の③～④の生徒に対するスタンス、は「寄り添う」というセンスをもって接します。

「君のことを信じているよ」「いいぞ、その調子だ」「何かあったらいつでもそばにいるから相談して」そんな言葉をいつも心の中で

生徒に投げかけているのです。ですから生徒と学志舎のコーチの信頼は固く、大きく伸びるのです。そのために私は日本青少年育成協会の

「教育コーチング」を学び、トレーナー資格を取り、18年間、年3～4回の研修会でうちの学生コーチたちにコーチングの技能を教えています。

これを知らない、子供に寄り添えないんです。教師（塾であれ何であれ）は教えたがります。

レベル④に行こうとしている子が立ち止まったり②にもどったりするもったいないでしょう？

このチラシ vol.1 日下部君と担当コーチ山下との会話を思い出します。紙面の都合上紹介できませんが、

日下部君との合格対談を掲載した10年前のチラシをHPにわかるようにUPしておきますので、興味のある方はご覧ください。

お読みいただきましてありがとうございます。それではまた11月に vol.7 でお会いしましょう。お元気で！

夢叶うまで挑戦！ 夏期講習会2021



詳細はHPを御覧ください

<https://gakushisha.com/>

学志舎 検索

自律学習の徹底 国語力最優先指導 褒める教育の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」

と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち

「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、

自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

20年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、

国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、

すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。

そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、

その結果で証明してきたのです。

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、

24年の経験の中で間違いありません。

学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、

良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。



勉強の習慣付け

小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう！

高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索